

# 研究報告

2015/12/04 M2 厚田耕佑

## 実施内容

前回、パウダーでイメージングを行った際、オフセットを与えないとイメージが中心に来なかったため、アライメントを行った。コリメートとプローブ内のアライメントを行った。対物後のパワーは33mW と前回とほとんど変わらなかったが、レーザー光は真っ直ぐ飛ぶようになった。この系でイメージングを行った。腱の切片サンプルの焼けていない部分に焦点を合わせた。パワーは15mW で、視野は400\*400 $\mu\text{m}$ に設定した。生体の切片サンプルのイメージングに成功した。

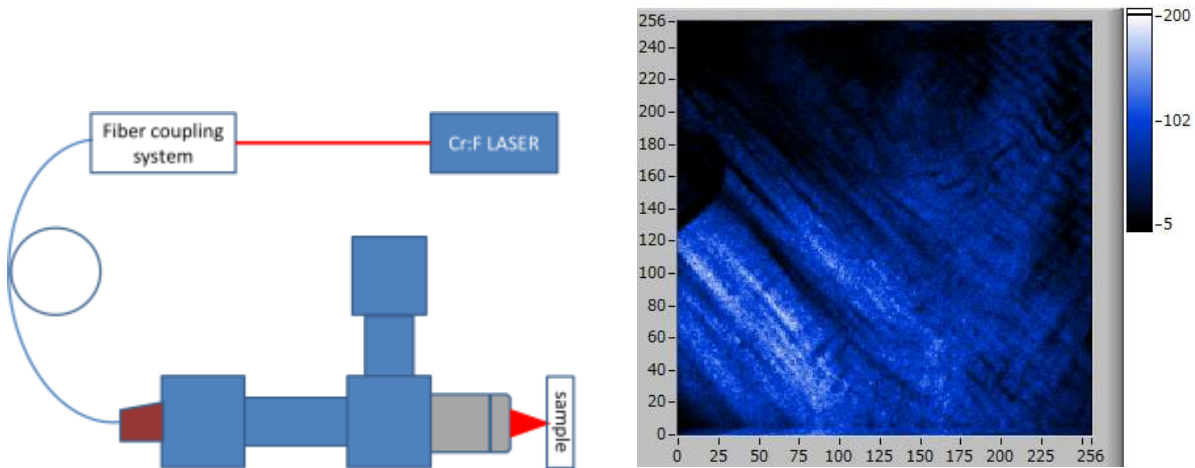


Fig.1 セットアップおよび SHG イメージ

現在、プローブのステージを手動ステージから機械式ステージに変更した系を構築中。並行してアゴ置き台(アタッチメント付き)も作成中。

今後の予定@計画表

in vivo イメージング@ヒト皮膚

偏光系？

Table.1 計画表

	10月				11月				12月			
インターフェイス(ステージ)	■			■								
インターフェイス(プローブ)							■	■	■			
THG検出	■											
小型SHG顕微鏡 ファイバーデリバリー	■			■	■			■	■			
ハンドヘルド(アーム)計測											■	■
								— 予定			■ 準備中	■
											■ 実施中	■
											■ 完了	■